

# 令和元年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

学校運営計画 (4月)				総合評価		
学校運営方針		校訓の精神と教育目標を継承した上で、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するために、「Challenge(挑戦)・Creation(創造)・Collaboration(協働)・Contribution(貢献)」を学びのキーコンセプト(4C)とする実践的・体験的な教育活動を推進する。				
昨年度の成果と課題		本年度重点目標	具体的目標			
<p><b>【成果】</b> 学校生活に目標を持って意欲的に取り組む意識を醸成することができ、学習活動・部活動・資格検定試験・工業に関する大会コンテスト等、様々な場面で生徒の活躍を見ることができた。また、進路指導においても、企業及び公務員に関する実績において、すばらしい成果を挙げることができた。教育相談については、職員連携を充実させ、いじめや不登校等についての早期対応をすすめることができた。</p> <p><b>【課題】</b> 学習状況の評価及び進路指導に対して、外部模試等の活用が不十分であり、客観的評価による現状把握及び対策強化が必要である。 交通事故防止をはじめとする生徒指導に係る諸課題への、生徒の自主的主体的取組をすすめる、生徒の自己指導能力向上を図りたい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の改善・充実に努め、教科指導力の向上を図る。</li> <li>主体的に学習する姿勢と確かな学力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びのためのアクティブラーニング型授業の推進やICT機器の活用を図る。</li> <li>指導と評価の一体化を目指した学習評価のあり方を検討し、目標に準拠した評価・観点別評価を確立する。</li> <li>基礎力診断テスト及び資格検定試験を有効活用し、学ぶ姿勢を含めた学力向上を図る。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的生徒指導を基本とし、多方面からの生徒育成を推進する。</li> <li>自己指導能力の向上を図り、心豊かな人間の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶、マナーや交通安全等、生活全般にわたる積極的生徒指導を展開し、社会人として求められる資質能力を生徒自身が理解し身につける取組を実施する。</li> <li>生徒会を中心とする生徒の主体的取組を促し、自ら考え判断し行動する生徒育成を行う。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導の体系化を推進し、キャリア教育の充実に努める。</li> <li>進路目標実現に向け努力を継続する生徒を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職及び進学に対する計画的かつ組織的な指導体制を充実させ、進路指導の体系化を構築する。</li> <li>各学年での適切なガイダンスと意識を高める取組を企画し、キャリア教育の充実に努める。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>修学支援・教育相談における校内および外部機関との連携を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな人間性を育む道徳教育の充実に努め、社会の一員としての自らの在り方、生き方を考える力を育てる。</li> <li>校内の教育相談体制をさらに充実させ、外部機関との適切な連携による、いじめや不登校等の早期対応・解決に努める。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり教育や資格取得等、各学科の特色化及び充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒全員のジュニアマイスター認定を目指し、各学科の計画的指導体制を構築する。</li> <li>課題研究を充実し、課題発見・課題解決能力の育成に取り組む。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>創立百周年へ向け、八工生としての誇りと責任感を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に運営する学校行事や部活動を展開することにより、全生徒が活躍できる場を提供する。</li> <li>リーダーの育成を進め、所属感や達成感を高める特別活動を展開する。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に開かれた学校づくりに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な広報媒体活用による積極的かつ戦略的広報活動に取り組む。</li> <li>出前授業やボランティア活動等による外部機関への積極的支援活動を展開する。</li> </ul>					
評価項目	具体的目標	具体的方策		評価(7月)		2学期以降の主な課題
学務課	・確かな学力の育成	・「学習計画シート」を活用し、生徒の自学自習力の定着や自己研鑽力を育成する。				
		・基礎力診断テストの結果を踏まえ担当者と連携し、個人の課題発見と基礎学力の向上を目指す。				
		・時制の変更や特別時間割等により、1単位35時間の確保を目標とする。				
		・研修課と連携し、アクティブラーニングやICTを活用した授業の啓発、支援を行い授業改善につなげる。				
	・ものづくり教育の充実	・企業や大学との連携を推奨し、課題研究や実習等における質の高い教育実践を行う。				
		・必要とされる資格を精選することで、計画的な資格取得を支援する。				
		・学校説明会や出前授業等を積極的にを行い、中学生への広報活動の充実に努める。				
	・成績改善対象者や長期欠席者等への対応	・担任や教科担当者と連携をとり、対象生徒に対し、早めの声かけや計画的な補習を行う。				
		・各教科において、考査の結果のみに偏らない総合的な観点別の評価の定着に努める。				

評価の基準 A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

企画庶務課	・綿密な行事計画の企画立案を行う。	・朝礼後に業務の進捗状況を共有し、共通理解に努める。			
		・共有サーバーのホルダー構成を見直し、業務の効率化に努める。			
		・業務分担や業務内容の明確化を図り、早めに取り掛かれるように提示する。			
	・PTA・同窓会との連携を深め、活動を支援する。	・PTA及び同窓会主催行事において、全職員で支援し協力する。			
		・学校行事に保護者が参加しやすいように、早期の広報活動を徹底する。			
		・行事の実施案を早期に提示し、調整の時間的な余裕を持たせる。			
・関連部署との連携を図り、データの活用を推進する。	・行事記録を整理し、関連部署との連携を推進する。				
	・行事でのICT機器活用を推進する。				
図書広報課	・学校図書館の充実と利用促進	・図書館蔵書の充実を図り、館内整備に努め、生徒が利用しやすい環境づくりに努める。			
		・来館者と貸出し冊数の増加のため、選書方法の改善や広報活動に努める。			
		・校内読書感想文・小論文コンクールを開催し、表現力の育成を図る(国語科と共催)。			
	・生徒図書委員会の活性化	・生徒図書委員会による図書館報の年5回以上の発行、カウンター当番などの主体的活動を促す。			
		・他校の委員会活動との交流や読書会など、研修会への積極的な参加を促す。			
	・文化的行事の運営と情操教育	・芸術教室で一流の芸術・芸能に触れさせ、感性を磨かせるとともに養い、鑑賞マナーを身につけさせる。			
		・全校読書会・意見交流会を実施し、読書への関心を高め、コミュニケーション能力を養う。			
		・知性と教養を育む自己研鑽の場、適切な情報発信の場となるよう努める。			
	・広報活動の促進・充実	・八工Newsを年5回以上発行する。			
		・学校HP、正門・校内掲示板の迅速な更新、管理運営を行う。			
		・学校案内を充実させ、本校に興味を持てるものにする。			
		・中学校訪問時の資料等の常時更新と最新の情報発信に努める。			
・本校の取組や生徒の活動状況の細やかな発信により、地域への学校理解を深めていく。					
情報管理課	・ネットワークの安定運用 ・ICTを活用した効果的な授業の推進	・情報セキュリティ対策をしっかりと行う。			
		・ネットワークの安定運用を図り、新システムへの対応を迅速に行う。			
		・校務用サーバのデータの整理・適正化を図る。			
		・ICTを活用した効果的な学習活動に寄与するような授業の推進を図る。			
生徒指導課	・規範意識の醸成と自己指導能力の育成	・「いじめ防止・撲滅」に対する全職員・生徒の意識の高揚を図るとともに、「いじめの早期発見・早期対応」を組織的に実践する。			
		・SNS等に関する内容については、情報推進課と連携を図り、情報モラル教育の推進やネットパトロールの実施を行う。			
		・地域に信頼される学校を築くための生徒一人一人の意識づくりを行う。			
	・交通安全教育の推進	・登下校の交通指導や二輪車安全教室を通して、交通ルール・マナーに関する意識の高揚を図る。			
		・保護者の理解や地域との連携を図り、交通安全教育の充実を努める。			
	・生徒の自主的活動の充実	・部活動を通して豊かな人間性の育成と体力の向上と健康の増進を図る。			
		・学校行事等における生徒の自主的運営の更なる充実を目指す。			
		・挨拶運動のみならず、場に即した生徒の自主的啓発活動の充実を図る。			
		・生徒会や学科リーダー等による主体的な活動を促していくとともに、八工生としての自覚と誇りや責任感をもたせる。			

保健環境課	・自己管理能力の育成	・毎日の健康観察を通じて感染症等の予防と早期対応による感染防止に努める。			
		・各種行事を通じての健康・安全への啓発と実践力の育成を図る。			
		・保健委員長をリーダーとし、保健委員会の自主的活動の活性化を図る。			
	・美化意識の向上と環境保全	・定例の美化委員会を通して、生徒の校内美化についての意識の向上を図る。			
		・美化委員長を中心に各クラス美化委員が、清掃への取組を積極的に行う。			
		・美化委員としての美化に対する意識を、学校行事を通して高めていく。			
	・修学支援・教育相談の充実	・担任、各分掌、SC、SSW、関係諸機関と連携して組織的な修学支援を行う。			
		・生徒・保護者に対する情報提供に努め、相談しやすい体制をつくる。			
		・一人一人の人権が大切にされている学校づくりを進めることによって修学保障につなげる。			
就職対策課	・企業就職希望者を一次募集での100%合格を目指す。	・就職対策課で得た求人情報を担任等への情報共有化を行い、生徒が社会的・職業的自律に向けて成長できるように支援を行う。			
		・女子支援課の面談を通じて情報を共有化し、女子の企業選択のミスマッチが無い様に努める。			
	・公務員希望者の100%採用を目指す。	・二次試験対策(面接の対応)を具体化し、早めの準備を行わせる。			
		・普通科と協力しながら朝課外や土曜セミナーの年間計画を明確にし、学習支援を継続する。			
進学指導課	・学習意欲の喚起を促し、基礎学力の向上を目指す。	・進学先選択に必要なアドバイスが出来る様に、入試方法や入学後のカリキュラムに関する詳しい情報収集に努める。			
		・朝課外や土曜セミナーの年間計画を明確にし、体系化を図り組織的な取組が学習支援につながるよう努める。			
	・進学希望者を第一志望での100%合格を目指す。	・進学面談等を行い、生徒自ら積極的な進路選択が出来る様に導く。			
		・進学先での目的・目標を持たせるためにも「進路指導の手引き」の活用やオープンキャンパスに参加させ、自ら考えて目的達成に取り組ませる。			
女子支援課	・基本的な生活習慣の確立	・積極的な生徒指導を実施し、高校生らしい身だしなみを常に保つ力を育てる。			
		・更衣室やトイレの使用のルール・マナーを徹底し、美化に努めさせる。			
		・自己の健康管理や護身に関心を持たせ、自己管理能力を育てる。			
	・将来を見据えたキャリア教育の推進	・企業が求める社員像などについて考えさせ、担任やキャリア教育部との連携を図る。			
		・個人面談を実施し、生徒一人ひとりの自己発見・自己実現をサポートする。			
		・学校生活の様々な場面において、自ら気付き動くことが出来る生徒を育てる。			
研修課	・「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善の推進	・研究授業月間を設け、共通テーマの下に授業改善に努め、教科の指導力向上を図る。			
		・授業アンケートを年2回実施し、教員の授業改善と生徒の自学力育成を図る。			
		・授業アンケートの集計・結果報告書作成等を速やかに行い、結果を還元する。			
	・職員研修の充実	・本校の教育課題に応じた校内職員研修会の充実を図る。			
		・教員の自己研鑽の場として、校外研修への積極的な参加を促す。			
		・組織的な指導体制をつくり、充実した初任者研修を実施する。			
	・研修成果の還元と共有	・研究紀要の作成を計画的に行い、研修の成果を職員に還元する。			
		・各研修会の報告会を実施し、研修成果を共有する。			

人権教育	・人権教育の充実と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進し、全ての人の人権が大切にされている学校づくりに努める。</li> <li>・生徒の実態とニーズに応じた人権教育を実施し、人権が大切にされている社会を創造しようとする主体を育てる。</li> <li>・職員の研修参加態勢の充実をさせ、人権教育に係る指導力の向上を図る。</li> </ul>				
第1学年	・心を重んじる態度と実践力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の尊重と生徒一人ひとりにとって安心感と思いやりのあるクラス作り。</li> <li>・何事にも誠実に取り組む姿勢の尊重と主体的行動の価値の理解。</li> </ul>				
	・基本的な生活態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆勤賞75%(各クラス30人)以上を目指す。</li> <li>・自信をもって積極的に挨拶や返事ができるようになる。</li> </ul>				
	・八工1年生として、自ら考え主体的に行動ができる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスへの所属感やクラス愛を育み、他のクラスと切磋琢磨する。</li> <li>・教室内や1階廊下の環境整備、奉仕活動の主体的行動を育む。</li> </ul>				
第2学年	・キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の高い資格取得への挑戦と競技大会へ参加し、経験を活かした将来設計を心掛ける。</li> <li>・インターンシップの充実を図り、目的に対する達成度を考えさせ学校生活に活かす。</li> </ul>				
	・自立できる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆勤賞200名以上を目指す。</li> <li>・クラスの中でコミュニケーションを増やし、自分の役割を果たせる生徒の育成。</li> </ul>				
	・規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的責任を担う職業人としての倫理観の醸成。</li> <li>・生徒の背景にある課題を、専門家の支援や助言を得つつ、組織的な支援体制を構築する。</li> </ul>				
第3学年	・自立した生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に考えて行動する力を育てる。</li> <li>・失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦できるよう教師が支える。</li> <li>・あらゆる学校行事でリーダーとして活躍できる人材を育てる。</li> <li>・フォロワーシップの精神で生徒の協調性を育む。</li> </ul>				
	・一人ひとりの進路実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育部と連携し、就職・進学・公務員を希望する生徒へ適切かつ迅速な対策をする。</li> <li>・学年・学科の連携を密にし、一人ひとりの進路希望に応じた対応を行う。</li> </ul>				
	・八工工業生として自覚と誇りを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ヶ年皆勤80%を目指し、日ごろから自己管理ができる生徒を育てる。</li> <li>・挨拶・服装・行動など、最上級生(八工工業生)としての自覚と誇りを持たせる。</li> </ul>				
電子機械科	・キャリア教育を充実させ、生徒自身が自分の進路実現に向けて主体的に行動できる能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップの育成および協働的な意欲と態度の育成に努める。</li> <li>・学校生活のあらゆる場面でコミュニケーション能力を会得させることを意識して指導を行う。</li> <li>・進路については、本人・保護者の希望をしっかりと聞き尊重した上で、適切な指導を行う。</li> <li>・科の特性をふまえた適切な指導・助言に努める。</li> </ul>				
	・授業の改善と充実に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びのためのアクティブラーニング型授業の手法と、評価の方法を研究し実践する。</li> <li>・授業や実習において、ICT機器を積極的に活用する。</li> <li>・授業と関連の深い資格試験を積極的に活用し、学ぶ姿勢と学力の向上を図る。</li> </ul>				
	・職員、生徒ともに専門性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりコンテスト、ロボット競技に協力し合って取り組み、全国大会優勝を目指す。</li> <li>・課題研究を活性化させ、福岡県生徒研究発表会優勝を目指す。</li> <li>・製図検定、技能検定機械系保全作業3級、計算技術検定等、学科の専門性にあった資格取得を推進し、生徒全員をジュニアマイスターにする。</li> </ul>				

自動車科	・自己指導能力を向上させる。	・欠席・遅刻・早退を少なくできるように、日頃から体調管理を徹底する。 ・好感の持てる挨拶や返事・言葉使い及び頭髮服装指導を徹底し、自ら律するようになる。 ・定期的に科会議を開き、生徒の状況把握に努め、科職員全体連携して指導にあたる。			
	・専門教科や資格試験の指導を充実する。	・生徒が主体的に学び続ける授業展開を行い、生徒自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。 ・基礎力診断テストを有効活用し、基礎学力の向上を図る。 ・課題研究を中心に、課題発見・課題解決能力を育成するために創意工夫した取組ができるようにする。 ・ものづくりコンテスト・エコデンカー全国大会では、上位を目指す。 ・資格検定試験を活用し、自ら学ぶ姿勢を含めた学力向上を図り、ジュニアマイスター認定を目指す。			
	・自己理解と進路選択能力の育成を図る。	・3年生全員の就職・進学等の進路実現を図る。 ・インターンシップや教育活動を通して進路に対する意識を高め、職業観や勤労観の育成を図る。			
電気科	・座学と実験・実習との連携を強め専門教科の指導を充実させる。 ・自ら学習する意識と行動力の育成を目指す。	・進路先の実務内容に対応できる実習内容と座学連携を強める。 ・ものづくりに関連する項目を各学年で設定し、生徒の意欲・関心を高めるため実習の項目の目的を強め、学力の向上に繋げる。 ・問題解決能力とコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力の育成を図る。			
	・社会人としての基本マナーと社会常識を習得させる ・インターンシップや工場見学を通して職業観・勤労観を養い、実社会で生きる力を育成する	・日頃より服装、挨拶、清掃、遅刻、欠席、言葉遣い等に対する指導を徹底する。 ・学校や科・クラスへの帰属意識を高め、学校行事に積極的に参加する意識を養う。 ・インターンシップや工場見学を通して、電気の業務に必要なとされる責任感・安全性・使命感等の人間性を育てる。			
	・第二種電気工事士の全員取得を目指す ・職員間での進路に対する共通理解と企業情報を共有して、生徒の進路実現を目指す	・第二種電気工事士の全員取得を目指す。 ・高度資格の指導を行い、自ら学び成長し社会貢献する意識を育てる。 ・全職員で学習指導や面接指導、インターンシップ、企業訪問等に力を入れる。			
情報技術科	(生徒指導) ・基本的な生活習慣の徹底を図る。 ・自ら考え行動する力を育て、心豊かな人間の育成を目指す。 ・科会議を通して、生徒状況を把握し連携協力する。	・社会的なマナーに則った行動のできる生徒を育成していく。 ・学校行事を生徒主体で行わせることにより、自ら考え行動する力を育てる。 ・クラス担任や教科担当者と協力しながら、生徒の状況を的確に把握し、早期に効果的な指導を行う。 ・遅刻・欠席・早退を減らし、各学年において皆勤者を25名以上を目指す。			
	(学習指導) ・キャリア教育を充実し、主体的に進路を選択できる能力を育む。 ・基礎と基本を重視した学習指導を行い、学力の向上を図る。 ・資格取得のための指導充実を図る。	・基礎・基本を重視し、特に電気基礎・電子回路の指導を充実する。 さらに最新技術であるAI、eスポーツ等に取り組む。 ・ITパスポートなど専門的な資格取得を強化し、希望する生徒の50%以上の合格率を目指す。 ・コミュニケーション能力の育成のため、自らの考えや意見を出し合う機会をつくる。 ・ものづくりコンテスト(電子回路組立部門)の上位入賞を目指し、さらに取り組みを強化する。 ・家庭学習を充実させ、ジュニアマイスターゴールド認定20名以上を実現する。			
	(進路指導) ・実践的技術者としての意識と資質を育む。 ・ものづくり活動の指導を充実する。	・あらゆる機会発言する場を設け、社会で必要とされているコミュニケーション能力の向上を目指す。 ・産学官連携産業人材育成事業・工場見学などを活用し、しっかりと職業観・勤労観を育む。 ・3年担任をサポートし、一人ひとりの進路実現を目指す。			

(6/6)

土木科	・主体的に学習する力を育成する。 ・学習に対する意欲関心を高める。	・基礎と基本を重視した学習指導を行い学力の向上を図る。			
		・アクティブラーニング型授業の展開やICT機器の活用を図り、生徒を主体とした授業の展開に努める。			
		・進路実現のため、教科及び面接指導など指導体制の確立と学習支援の充実を図る。			
		・職員の専門教科における情報の共有を深め、国家資格取得のため指導充実を図る。			
	・実社会で生きる力を育成する。	・5分前行動など、時間厳守を徹底する。 ・授業、実習、行事等を通して社会人として求められる資質能力の育成を図る。			
		・職員間での生徒情報の共有と共通認識を深め、きめ細やかな指導を行う。			
		・好感の持てる挨拶や返事などの社会人としてのマナーを育成する。 ・HR活動を通して、生徒の発言する場を増やしコミュニケーション能力を育成する。			
		・体調管理を徹底し、欠席・遅刻・早退を減らし各学年皆勤30名以上を目指す。			
	・国家資格の取得やものづくり教育の充実に努める。 ・土木技術者としての意識を育成する。	・インターンシップや現場見学等の現場体験を充実させ、土木職に対する意識向上を図る。 ・高度熟練者による実習指導等を活用し、生徒の勤労観・職業観を育成し進路意識を高める。			
		・測量士補合格25名以上、2級土木施工技術検定30名以上合格を目指す。 ・生徒全員のジュニアマイスター認定を目指し、シルバー以上の認定者25名以上を目指す。			
		・ものづくりコンテスト(測量部門)で九州大会出場を目指す。			
工業化学科	・主体的に学習する意欲と学力の向上を目指し、確かな学力を育成する。	・授業・実習の改善・充実に努め、課題研究等を通して自ら課題を見つけ、問題解決を図る能力の育成に取り組む。			
		・適切な課題等工夫し、家庭学習を含めた学習習慣を身につけさせる。また、課題等の提出期限を厳守させる。			
		・ものづくりコンテスト化学分析部門において県大会連覇を目指し、専門分野に対する意識を高めさせる。			
		・気になる生徒に関しては、保護者に相談し情報を共有して組織的に対応する。			
	・社会人として通用する資質・能力を身につけさせる。	・欠席、遅刻を減らし、各学年30名以上の皆勤者を目指す。			
		・教室や実習室の環境整備を心掛けさせ、規範意識の向上に努める。			
		・実習の中で、生徒の役割と責任ある行動を持たせる。各パートにおいて成功体験を通し、自尊感情の向上に努める。			
		・危険物取扱者・高圧ガス製造保安責任者・ボイラー技士等の専門性の高い資格指導を充実させ取得向上を図り、ジュニアマイスター認定者を増やす。			
	・進路指導の充実と進路実現を目指し、キャリア教育の推進を図る。	・第一希望100%の進路実現を目指し、科の職員全員で3学年担任をサポートしながら、学習・面接等の指導を行う。特に女子生徒の進路希望実現に向けて、キャリア教育部、学年と連携して取り組む。			
		・進路実現に向け努力を継続できるよう、インターンシップ・工場見学・高度熟練者による実践的な学習指導等の機会を通して進路意識を高め、自ら将来を切り拓いていく力を育む。			

評価の基準 A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった